

ま れ!

集

地元支援
のNPO

途上国支援
の開発NGO



条約から地球的課題を探る

～ 生物多様性と南北問題の視点を踏まえて～

2010. **7**月**31**日(土) 10:00 ~ 17:00

午前

10:00 ~ 12:00

ワークショップ

3分野の条約の流れを把握しましょう!

経済分野
講師 神田浩史氏

講義と自由討論

午後

13:00 ~ 17:00

社会開発分野
講師 下澤嶽氏

講義 + 自由討論

環境分野
講師 磯崎博司氏

講義 + 自由討論

分科会 (3グループに分かれる)
全体会 (まとめ)

会場 : 財団法人 名古屋キリスト教女子青年会 (名古屋 YWCA)
〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 TEL 052-961-7707
(地下鉄「栄」駅、東5番出口より東へ2分)

定員 : 50名(先着順) 参加費 : 無料

申込み方法 : 「名前 所属 メールアドレス(お持ちでない方はFAX番号) 本セミナーに期待すること」を明記の上、メール、FAX、電話のいずれかにて、名古屋NGOセンターまでお申込み下さい。



主催 外務省 (2010年度NGO研究会)

運営 特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター

協力 特定非営利活動法人 生物多様性フォーラム (JFB)

3つのポイント！

南北問題の視点から環境・開発・経済のつながりを見る

21世紀は環境の時代といわれます。経済開発や社会開発が環境を抜きにしては取り組めないほど環境問題は深刻になってきています。1) 生物多様性条約、気候変動枠組み条約、ワシントン条約、ラムサール条約などの国際環境条約の歴史的な形成の流れと、2) MDGs など、国連等のイニシアティブで進んでいる貧困国への開発援助理念と手法の形成変遷の流れ、3) ガットからWTOを経て形成された自由貿易の国際的な枠組み形成の流れの三つの分野(環境、開発、経済)を同時に並べて比較することによって、生物多様性条約の考え方が世界構造のどの位置にあるのかを考えてみようという企画です。

国際条約の動きから草の根の取り組みを見直す

参加者が、国際的な動向を理解することによって自らの草の根での共時的経験を振り返り、その活動の意味を別の角度から捉えなおし、「生物多様性」の本義を理解して環境の時代に応える活動展開に刷新していくことをめざしています。

セクターを越えて連携をめざす

途上国支援の開発 NGO と地域支援の環境 NPO が集い、意見を交わし、お互いを理解し、学びあう機会です。当ワークショップは、そのための一連のプログラムのスタートです！

講師紹介



神田浩史氏 特定非営利活動法人 AM ネット理事

2003年開催の第三回世界水フォーラムの事務局次長として活躍。ODA政策や経済のグローバル化に関する調査研究、政策提言を続ける一方、「ぎふ・エコライフ推進プロジェクト」実行委員長を務める。



下澤嶽氏 静岡文化芸術大学准教授、平和構築 NGO ジュマ・ネット代表

学生時代のインドでの経験、(特活)シャプラニール駐在員としてのバングラデシュでの経験を通して途上国支援のあり方について多くを学ぶ。シャプラニール事務局長、(特活)国際協力 NGO センター事務局長を歴任。



磯崎博司氏 上智大学大学院地球環境学研究科教授

国際法の観点から南北問題や環境問題を研究。名古屋会議の重要課題である遺伝資源の利用と利益配分(ABS)の交渉に参加しており、その法律専門家会合の共同議長を務めた。

お申込み・お問い合わせ先

特定非営利活動法人 名古屋 NGO センター

〒453-0021 名古屋市中村区松原町1丁目24番地

地域密着型ビジネス支援施設内 N206

日・月・祝日休み

TEL 052-483-6800 FAX 052-483-6801 Mail: info@nangoc.org (代表) URL: http://www.nangoc.org